

平成29年2月20日

保護者の皆様  
関係各位

練馬区立豊溪小学校  
校長 渡邊重幸

平成28年度 豊溪小学校教育活動アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動に深いご理解とご協力をありがとうございます。

さて、本年度の学校教育活動アンケートに際しましては、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。皆様からお寄せいただいたアンケートの集計結果と考察を下記の通りまとめましたのでご報告いたしますとともに、次年度の学校経営の参考とさせていただきます。

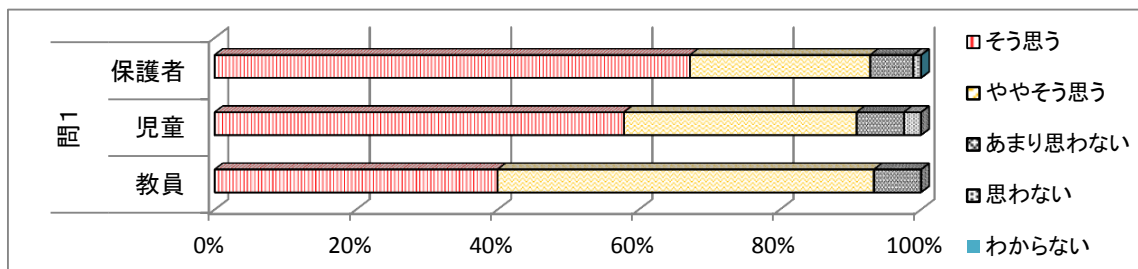
記

回答数 教員…16名 児童…373名 保護者…278名

(A) そう思う (B) やや思う (C) あまり思わない (D) 思わない (E) 分からない

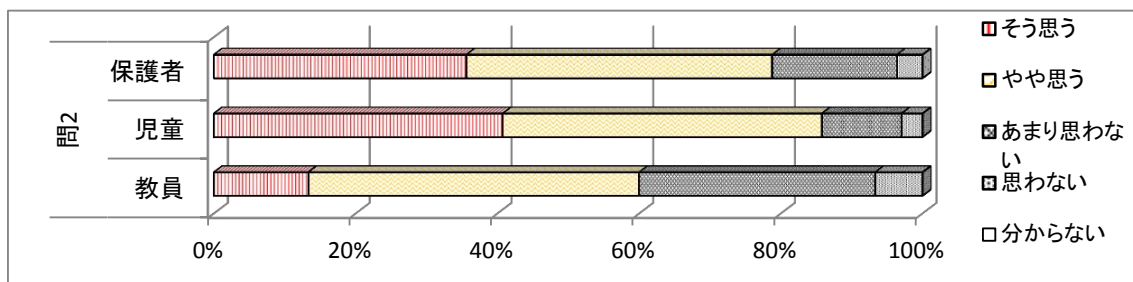
評価項目		A+B(%)	C+D(%)	E(%)
1 楽しい学校	教員	93%	7%	
	児童	91%	9%	
	保護者	93%	7%	
2 話を聞く態度や能力	教員	60%	40%	
	児童	86%	14%	
	保護者	79%	21%	
3 話す態度や能力	教員	53%	47%	
	児童	75%	25%	
	保護者	71%	29%	
4 読書の習慣	教員	87%	13%	
	児童	78%	25%	
	保護者	55%	43%	1,8%
5 挨拶や返事の励行	教員	47%	53%	
	児童	86%	14%	
	保護者	81%	19%	
6 規範意識の定着	教員	73%	27%	
	児童	87%	13%	
	保護者	90%	10%	0,4%
7 家庭学習の習慣	教員	88%	12%	
	児童	88%	12%	
	保護者	90%	10%	
8 授業の進め方	教員	93%	7%	
	児童	90%	10%	
	保護者	84%	9%	0,4%
9 教育相談の体制	教員	100%		
	児童			
	保護者	88%	6%	7,6%
10 教職員の応接態度	教員	93%	7%	
	児童			
	保護者	94%	5%	1,4%
11 校舎内外の環境美化	教員	94%	5%	1,4%
	児童			
	保護者	95%	4%	1,1%
12 情報発信	教員	73%	27%	
	児童			
	保護者	93%	6%	0,7%

問1 児童は、楽しく学校に通っていると感じる。



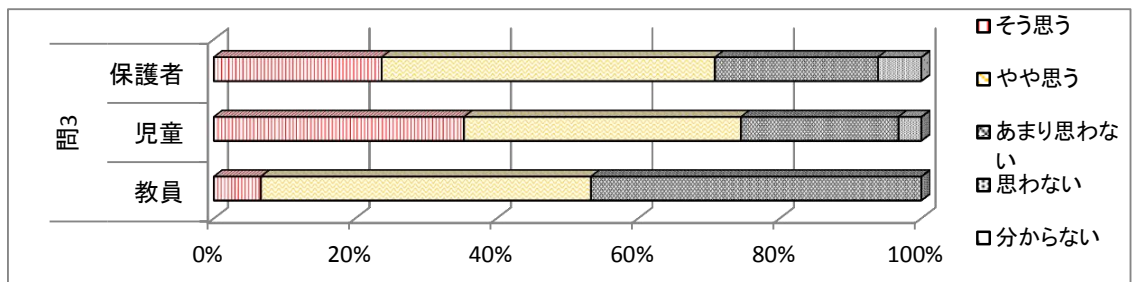
教員、児童、保護者とも高い割合で学校は楽しいと回答しています。しかし、中には、楽しくないと感じている児童がいることも真摯に受け止め、すべての児童が楽しいと思える学校づくりをめざし、指導や教育活動の改善を図ってまいります。

問2 児童は、話をしっかり聞く態度が身に付いている。



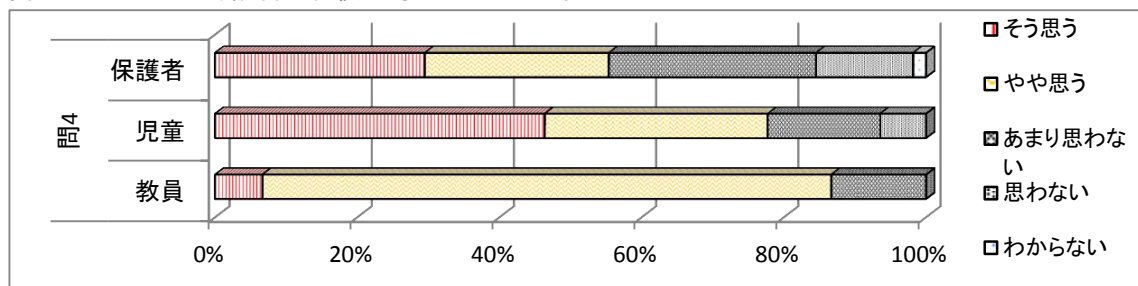
児童や保護者の8割程度は、肯定的に評価していますが、教員は、6割にとどまっています。全校朝会等の全体の場面ではしっかり聞けていますが、授業中や校外学習での移動時や集まって指示を聞く場面等では十分とはいえないことがありました。今後も繰り返し指導してまいります。

問3 児童は、相手にわかるように話す態度が身に付いている。



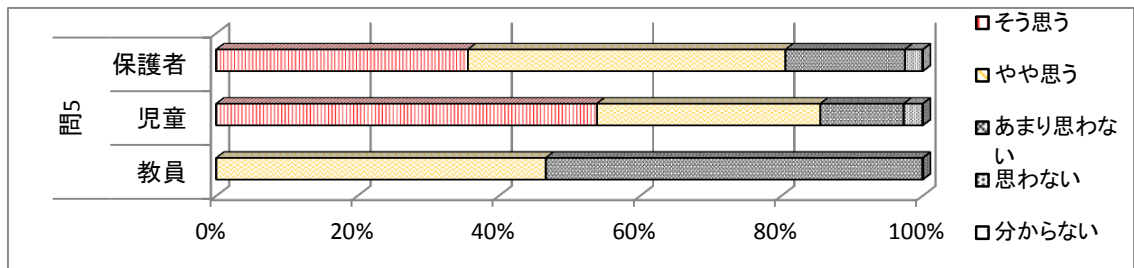
児童、保護者の7割程度は、肯定的な評価ですが、教員の半数は課題があるととらえています。自分の思いや考えを順序よく話すことや理由や根拠を添えて意見を述べることなどの力を伸ばしていく指導が必要であると考えます。

問4 児童は、読書の習慣が身に付いている。



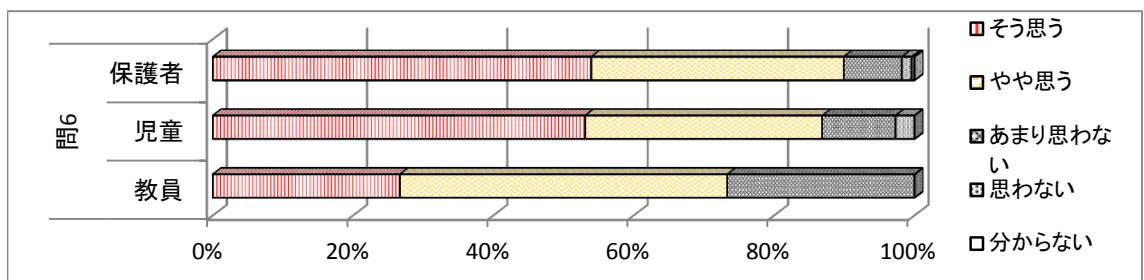
学校図書館支援員の適切な支援で図書館は充実してきました。児童の図書への興味がおかげさまでとても広まりました。しかし、この評価はあまり高くはありません。これからは、ただ読むだけでなく、落ち着いて読書する習慣を、生活指導とも連動して身に付けさせていきます。

問5 児童は、挨拶や返事が身に付いている。



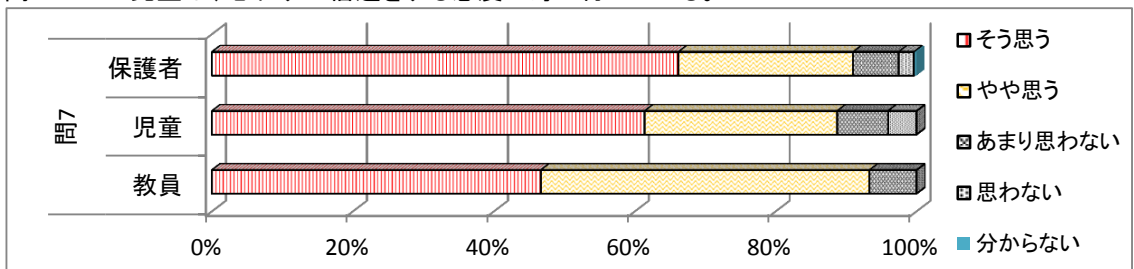
「そう思う」の回答が少ないことが残念です。これを受けて次年度は、「挨拶」「返事」についての指導と教職員全員も、「気持ちの良い挨拶」とはきはきとした「返事」については励行していきます。

問6 児童は、決まりを守る態度が身に付いている。



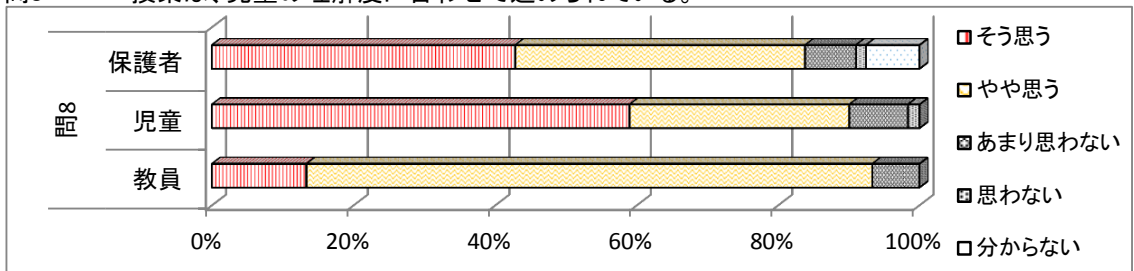
友達と仲よく学校での生活を送ることができるようにするために決まりはありますが、なかなか守ることができない場面があります。自己の生活や学習を見直していくことや、学校では児童一人一人にわかりやすく決まりについての指導を行っていくようにしていきます。

問7 児童は、忘れずに宿題をする態度が身に付いている。



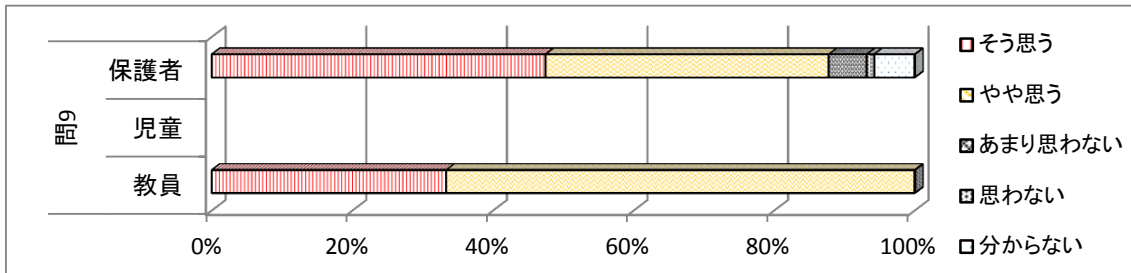
児童、保護者、教員の約9割が肯定的な評価をしています。今後も、学年の発達に応じて宿題の内容や分量を考えるとともに、保護者の皆様のご意見なども参考にしながら、定着を図っていきたいと考えます。

問8 授業は、児童の理解度に合わせて進められている。



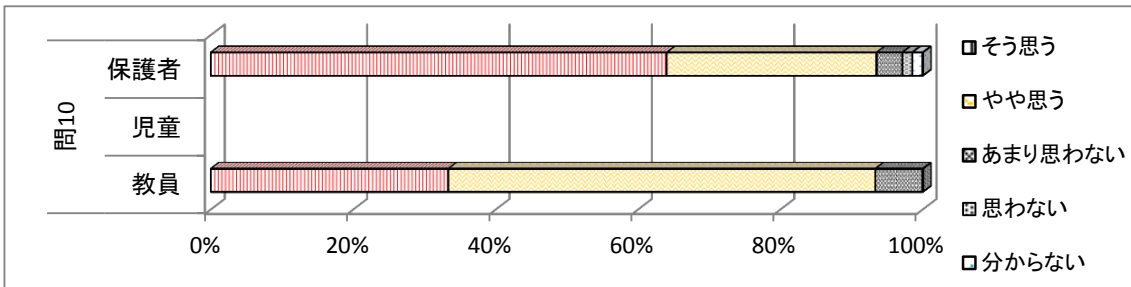
教師が学習指導力の充実に努め、児童がより理解しやすい指導法を追究することで、国や都の学力調査の結果が向上しています。これからも算数科の少人数授業の指導体制の充実に軸にさらなる向上を図っていきます。

問9 教職員は、保護者の相談を親身になって聞き、対応している。



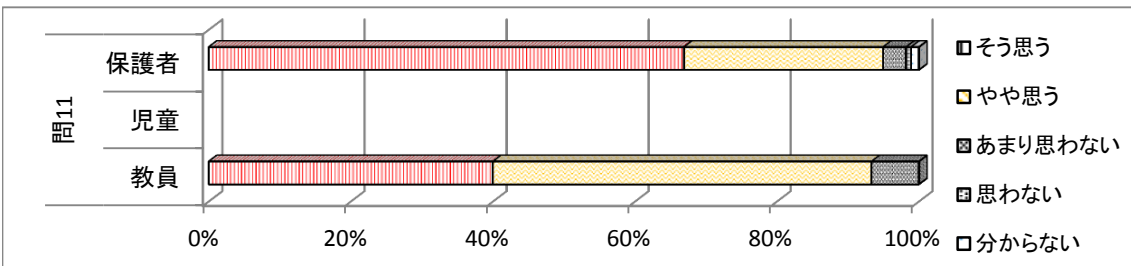
ほとんどの保護者が肯定的な評価をしています。しかし、対応していると思わないというご意見も真摯に受け止めて、スクールカウンセラーからの支援や区の生活支援員、心のふれあい相談員等も活用した相談機能の充実を図っていきたいと考えます。

問10 教職員の電話対応や来校者への応接態度はよい。



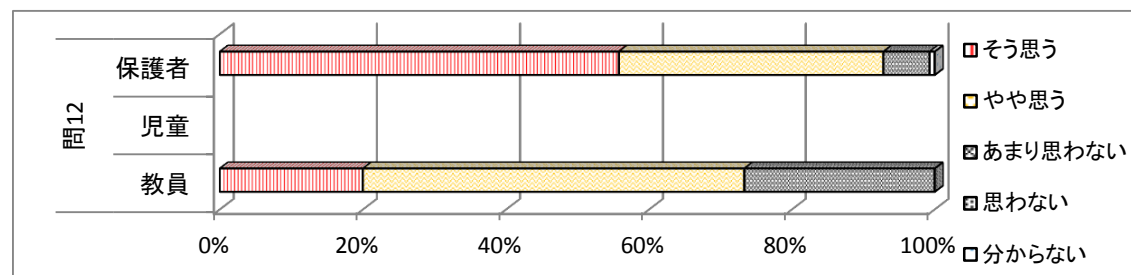
保護者の9割強が肯定的な評価をしています。今後も、全教職員が明るく、元気の良い返事やさわやかな応接態度を心がけるとともに、迅速な対応、適切な言動、清潔感のある身なり、等にも気を配っていきたいと考えます。

問11 学校の内外の清掃が行き届いている。



保護者の9割強が肯定的な評価をしています。ただ、児童がきちんと清掃を行っているかどうかについては、まだまだとのご意見もありますので、新年度は、児童の清掃活動への取組を学校全体で行っていきます。

問12 学校は情報発信を十分に行っている。(各種通信、HP、緊急メール等)



保護者の9割が肯定的な評価をしています。「学校連絡メール」もほとんどの保護者の皆様に浸透し、早期に対応していただき感謝しております。登録方法については年度で切り替わるため、新年度になりましたら全学年再度登録をお願いいたします。